

平成24年度から 地籍調査事業が始まります

建設課地籍調査係【☎028(677)6097】

地籍調査とは、土地に関する戸籍調査といわれており、一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界および面積について調査・測量を行います。

調査・測量の結果に基づき、新たに「地籍簿」「地籍図」が作成され、法務局備え付けの登記簿・公図が更新されます。

地籍調査の効果

①登記簿および地図（地籍図）と現地が一致するため土地取引の円滑化に役立ちます。



②土地の境界が確定するので、境界争いを未然に防止できます。

土地の境界が確定するので、境界争いを未然に防止できます。

③災害があっても、境界を復元することが可能なことから、災害復旧工事を円滑に進めることができます。



地籍調査の進め方

地籍調査は、町が主体となって実施します。**正確に調査するため、関係者立会いのもと境界を確認するなど、土地所有者である皆さんの協力も必要です。**

土地に関する測量や境界確認の実施には、たいへんな費用と時間がかかりますが、地籍調査では、**住民の皆さんの費用負担はありません。**

地籍調査の必要性

現在の登記簿や公図は、明治時代に作成されたものが多く含まれており、当時の測量技術の未熟さや長い年月の経過により、現況とのずれが生じている場合があります。

このような状況を解消するためにも地籍調査を行い、精度の高い登記簿や公図を作成する必要があります。

平成24年度実施予定エリア

土地改良および区画整理などが未実施の地区から実施します。

平成24年度は、町北西部の大字下高根沢地内（大塚地区周辺）を実施する予定です。



※詳細な実施エリアについては、建設課地籍調査係にお問い合わせください。

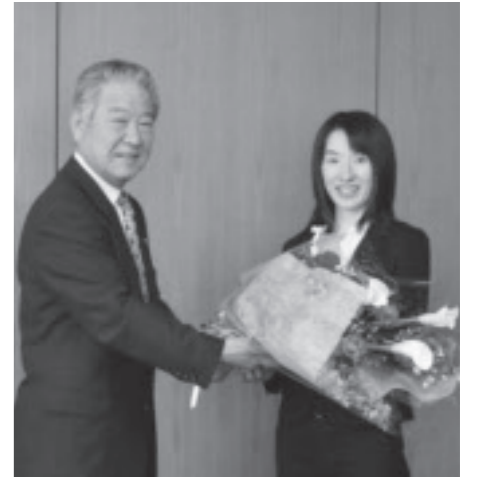
赤羽有紀子選手が 町長と懇談

3月21日(水)に芳賀町在住のママさんランナー赤羽有紀子選手が、コーチで夫の周平さんと役場を訪れ、後援会長である豊田町長と懇談しました。

赤羽選手は、3月11日(日)に愛知県名古屋市で行われた、ロンドンオリンピック女子マラソン選考レースである「名古屋ウィメンズマラソン2012」に優勝を目指し出場しましたが、惜しくも8位となり、ロンドンオリンピック女子マラソン日本代表の補欠に選考されました。

懇談の中で赤羽選手は「町民の皆さんの応援はいつも励みになっています。ロンドンオリンピック日本代表にはなれませんでした。今後もマラソンを続けていきます」と話されていました。豊田町長は、「赤羽選手が競技を続ける限り、後援会で応援していきます。次の目標に向けてがんばってください」と温かくエールを送りました。

名古屋ウィメンズマラソン2012には、当日35人の応援団がバスで駆けつけ、寄付していただいた「赤羽有紀子」と書かれたのぼり旗を手にして熱い声援を送りました。ナゴヤドームのゴールを目指すあきらめない姿に、参加者は感動を覚えていました。



芳賀町消防団、役場職員が 宮城県女川町支援



芳賀町が東日本大震災後、被災地支援を続けている宮城県女川町で、3月18日(日)に「女川町復興市」が開催され、芳賀町消防団の本部役員と団員、そして役場職員の合計19人が参加しました。この女川町復興市は「女川町民の復興支援のために町内外の方々の協力をいただきながら祭りを行い、人的交流や親睦を図り、活力を養ってもらうこと」を目的に計画され、交流がある芳賀町に出店の依頼がありました。

当日は、焼肉丼500人分、イチゴ200パック、トマト500個、コシヒカリ150kgをチャリティで配布しました。特にイチゴは、JAはが野苺部会芳賀支部部会員のご協力、米やトマトは、支援の趣旨に賛同していただいた人から提供をいただきました。用意したすべてのものは、開店前から行列ができ、約2時間で配布が終了してしまいました。参加した消防団員の1人は「仮設住宅で暮らしている多くの方々の笑顔とありがとうの言葉に、私の心がいやされました。また行きたいです」と感想を述べていました。

豊田町長…「今回は、消防団の方や多くの町民の方の協力が得られたことは嬉しいです。しばらくは、女川町の復興支援をしていきたい。今後、人と物産の交流を図っていければと思っています」

